



レインボーネット Rainbow Net

れいんぼー Topics

「くらしネットみやこ相談室」が 開設されました!



※くらしネットみやこ相談室 住所:宮古市末広町4-9 (旧 光蘭飯店) TEL:0193-65-7046

今年度から、生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者自立支援事業が全国で一斉にスタートしました。

生活困窮者自立支援事業は、「仕事が見つからない」「社会に出るのが不安」「家賃が払えず家を追い出されそう」など、さまざまな困難の中で生活している人を包括的に支援する新しい事業です。

宮古地域では、福祉事務所を設置している自治体から同事業を受託した宮古市社会福祉協議会(会長:赤沼正清氏)が、4月1日、宮古市末広町に「くらしネットみやこ相談室」を開設。同相談室には、既に専門職員が5名配置され、生活困窮者の自立支援にあたっています。

生活困窮に陥る要因はさまざまです。レインボーネットでは、同事業・同相談室との連携を深め、より重層的な支援体制の構築に努めてまいります。(文責・加藤)

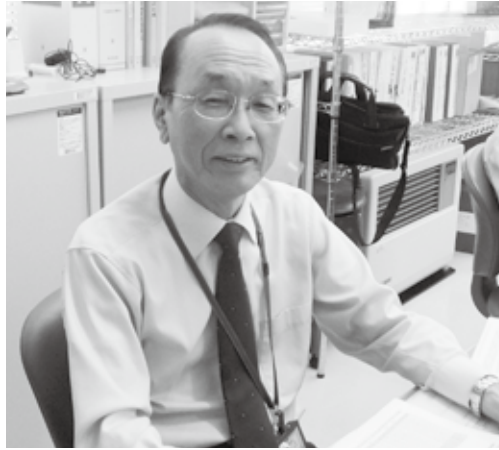
目次 CONTENTS

- | | | | |
|----------------------------------|-----|------------------------------|-----|
| ●れいんぼーTopics | 1 | ●はあとふるズームイン「地活センター」 | 8~9 |
| ●新年度にあたって | 2 | ●平成27年度事業計画・予算 | 10 |
| ●平成26年度 事業報告・決算、
新任職員紹介 | 3~5 | ●Essay・虹の架け橋 | 11 |
| ●宮古圏域・ふくし現場からのレポート | 6~7 | ●なんでもKEIJIBAN、
編集後記 | 12 |

新年度にあたって

宮古圏域障がい者福祉推進ネット

事務局長 盛合 一男



ております。

幸い今年度は異動がなく、従来からの職員に加え専門職1名の増員を図ることができました。昨年度に中途採用した職員2名を合わせますと、昨年度当初と比較して3名増の16名の職員体制となっております。これはサービス等利用計画の作成など増大しております業務量に対応するためでもあり、宮古市社会福祉協議会様及び若竹会様のご理解とご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

レインボーネットの事務局長に就任してから、早いもので1年が経過しました。この1年、日々の業務や事業などに追われ、職員の皆様に助けられながら無我夢中で過ごしてきたような気がします。この反省を踏まえ、今年度はじっくりと腰を据えて、一つひとつの事業や日々の業務に取り組んでまいりたいと考え

見直しを行い、満足度を高めるための取組みを進めてまいります。

また、従来からの事業、特にも圏域の4市町村から受託しております「宮古地区地域生活支援事業」につきましては、自立支援協議会専門部会を核として地域の課題に対応した取り組みをさらに進めてまいります。

具体的には、各専門部会が行う事業（地域懇談会の開催や重症心身障がい児・者の保護者等を対象にした生活実態及びニーズ調査の実施、就労アセスメントシステムの構築、農業分野における障がい者就労の先進地視察、権利擁護についての意見交換会の開催、地域移行希望者の把握と地域移行にかかる連絡調整、居住サポート体制の検討、放課後等デイサービスの利用ニーズ調査の実施、宮古圏域相談支援連絡会の開催、障がい当事者団体等ネットワーク



との連携、障がい者虐待防止のための啓発活動などを実施するとともに、地域活動支援センター事業や各種イベント等を通じて、利用者本位の障がい福祉サービスの充実と障がい者の社会参加を促進し、障がい者の誰もが安心して生活しやすい地域づくりを目指してまいります。

今年度も職員一同、気持ちも新たに取り組んでまいりますので、皆様方のより一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

平成26年度 事業報告・決算

Ⅰ 法人運営の関係

■ 会員総数 156人（団体）

○ 正会員 98人（団体）

（個人会員 71人・団体会員 27団体）

○ 賛助会員 58人（団体）

（個人会員 48人・団体会員 10団体）

■ 総会・理事会・運営委員会の開催及び会計監査の実施

○ 総会（1回開催）

○ 理事会（3回開催）

○ 運営委員会（3回開催）

○ 会計監査（4回開催）

■ 広報事業

○ 機関紙「Rainbow Net」の発行（2回／第18号・第19号）

Ⅱ 受託事業の関係

■ 宮古圏域障がい者自立支援協議会の運営（宮古圏域4市町村からの受託事業）

○ 宮古圏域障がい者自立支援協議会（親会）の開催（3回）

○ 実務担当者会議の開催（7回）

○ 専門部会の開催（27回）

・ 生活支援部会（6回開催）

・ 権利擁護部会（10回開催）

・ 精神保健部会（7回開催）

・ 発達支援部会（4回開催）

■ 宮古地区地域生活支援事業の実施（宮古圏域4市町村からの受託事業）

○ 障害者相談支援事業

年間の相談支援延べ件数 6,456件

（※前年度 6,449件）

○ 地域活動支援センター1型事業
年間の延べ利用者数 2,135人
（※前年度 2,188人）

■ 障害支援区分認定に係る訪問調査の実施（契約市町村からの受託事業）

○ 実施件数 宮古市 28件 岩泉町 11件

田野畑村 5件 圏域外 1件

■ サービス等利用計画の作成業務

○ 計画作成（契約）件数 396件

（モニタリング回数 551件）

■ 岩手県地域生活支援広域調整会議等事業の実施（岩手県からの受託事業）



はあとふるフェスタ

○ 地域委員会の開催（5回）
○ 精神科病院等からの地域移行者 15名
（前年度 15名）

Ⅲ 自主事業の関係

■ フェスタ・フォーラム等の交流事業

○ 宮古圏域障がい者スポーツ交流会（6月20日 宮古市総合体育館）

参加者 297名

○ 復興応援 はあとふるフェスタ2014
障がいのある人もない人も、みんな街に集まろうとの開催（被災地障がい者センターいわて、いきいきフェア実行委員会、ユースみやっこベース、沿岸北部障がい福祉復興支援サブセンターとの共催事業）

○ お祭り広場（ヨヨーつり、金魚すくい等）、地域活動支援センターみやこ作品展示、踏んでほぐす健康法等 各種体験コーナーを通じて地域住民と交流
（10月12日・13日 宮古市末広町商店街 花の木通り）

○ 障害者週間特別企画「ふれあい列車・はあとふる号」（宮古圏域障がい当事者団体等ネットワークとの共催事業）

（12月6日・7日 三陸鉄道・レトロ列車内 宮古駅⇄田野畑駅）参加者 95名撮影



ふれあい列車

■その他研修会等

○ペアレントトレーニング&そだち相談(発達支援部会)

(4回開催) 5月・6月・8月・10月 宮古地区合同庁舎 参加者195名

※講師:みちのく療育園小児科医 川村みや子氏、みちのく療育園前看護部長 三枝堂静子氏、盛岡大学短期大学部 黒澤彩花氏

○発達障がい学習会(発達支援部会)

(3回開催) 5月・7月・11月 宮古地区合同庁舎 参加者116名

※講師:いわてこどもケアセンター主任臨床心理士 三浦光子氏、花巻市教育委員会教育相談員 三田敏明氏、発達障害当事者3名、進行スタッフ2名

○宮古圏域障がい者自立支援協議会研修会

(6月29日) 休暇村陸中宮古 参加者120名

※「ピュアハート被災地交流コンサート2014 IN 宮古」

※講演会 講師:社会活動家 湯浅誠氏



発達支援セミナー

○発達支援セミナー(発達支援部会)

(10月26日) 陸中ビル 参加者200名

※講師:こころとそだちのクリニック「むすびめ」院長 北海道大学名誉教授 田中康雄氏

○地域生活支援セミナー(精神保健部会)

(11月29日) 宮古市総合福祉センター 参加者63名

※講師:宮古山病院院長 及川曉氏、フリーアナウンサー 上野泰夫氏

○チャレンジドフォーラム(生活支援部会)

(12月15日) 休暇村陸中宮古 参加者72名

※第1部 講師:厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課就労支援専門官 山科正寿氏

※第2部 パネルディスカッション
・パネリスト:山田町健康福祉課主任 鈴木郁也氏 外3名

・コメンテーター:厚生労働省 就労支援専門官 山科正寿氏



チャレンジドフォーラム

○宮古圏域障がい者相談支援スキルアップセミナー

(生活支援部会)

(1月23日) 宮古地区合同庁舎

参加者34名

※講師:未来の風せいわ病院 これからの暮らし支援部 副部長 安保寛明氏

○権利擁護セミナー(権利擁護部会)

(2月17日) 宮古市山公民館

参加者合計169名

参加者43名

※グループワーク、弁護士等の解説

○精神保健福祉ボランティアフォローアップ研修会(地域活動支援センター)

(2月18日) フラットピアみやこ 参加者15名

※講師:宮古山病院地域生活支援室室長 精神科認定看護師 小成祐介氏

○なないろ茶話会 くみんで話そう、子どものこと、親の思い(発達支援部会)

(3月14日) 宮古地区合同庁舎 参加者23名

■障がい当事者等に関わる懇談会等

○山田町家族懇談会

(6月21日) 山田町保健センター 参加者20名

○いずみ会

(6月26日) 宮古地区合同庁舎 参加者15名

○こころの元気サロンin大槌

(8月22日) ベルガーディア鯨山 参加者13名

○金石大観音とイオンショッピングの旅

(8月30日) 参加者25名

○リカバリーDE仮面座談会

(1月24日) カントリーズカフェ

参加者16名

○地域懇談会

(田野畑村、山田町、岩泉町、宮古市の4ヶ所で開催)

参加者合計169名

【表現活動】正月飾り

【レインボーネット 平成26年度 会計決算報告】

●活動計算書

収益の部			費用の部		
科 目		金額 (円)	科 目		金額 (円)
経常収益	受取会費	240,000	経常費用	事業費	60,623,451
	受取寄附金	165,000		人件費	18,729,956
	受取助成金	450,000		その他経費	41,893,495
	事業収益	71,682,450		管理費	6,760,032
	宮古地区地域生活支援事業等	57,300,000		人件費	2,176,201
	地域生活支援広域調整会議等事業	190,000		その他経費	4,478,832
	相談支援事業	13,973,250		減価償却費	104,999
	認定調査事業	219,200	経常費用計②		67,383,483
	その他収益	255,574	当期経常増減額 ①－②＝③		5,409,541
	受取利息	1,923	固定資産除去損 ④		30,000
	雑収益	253,651	税引前当期正味財産増減額 ③－④＝⑤		5,379,541
			法人税、住民税及び事業税 ⑥		1,289,900
			当期正味財産増減額 ⑤－⑥＝⑦		4,089,641
			前期繰越正味財産 ⑧		6,320,022
経常収益計①		72,793,024	次期繰越正味財産 ⑦＋⑧		10,409,663

●貸借対照表

(単位：円)

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	14,024,058	流動資産	3,782,399
現金預金	10,769,146	未払金	2,489,650
未収金	3,047,856	預り金	2,849
立替金	207,056	未払法人税等	1,289,900
固定資産	1,532,979	固定負債	1,364,975
什器備品	168,004	負債の部合計	
退職給付引当資産	1,364,975	5,147,374	
		【正味財産の部】	
		前期繰越正味財産額	6,320,022
		当期正味財産増加額	4,089,641
		正味財産合計	
		10,409,663	
資産の部合計	15,557,037	負債及び正味財産合計	
		15,557,037	

新任職員紹介 よろしくお願ひします！



吉田 比呂恵（支援員）

はあとふるセンター 2Fから1Fにやってきました。階段の上り下りが減った分、運動不足にならぬようフットワーク軽くいきたいと思います。趣味は読書。村上春樹から「名探偵コナン」「進撃の巨人」等、色々読みます。最近は岩手日報の4コマ漫画「イワさんとニッポちゃん」とNHK「あまちゃん」再放送が毎日の楽しみとなっています。でも一番の楽しみは「皆様との新しい出会い」です！どうぞよろしくお願いいたします。

現場からのレポート

Report 1

満足度調査の結果と 利用者の声

相談支援専門員 山本 美恵子



「地域活動支援センター」では、障がいのある

方の方の社会との交流を促進することを目的に、創作的活動、SST（社会生活技能訓練）、ピアカウンセリング、サークル活動、サロン活動などさまざまな活動を行っており、多くの障がいのある方に利用いただいています。今年の1月、活動内容を振り返ると共に今後の活動の方向性



を検討し、充実した事業運営を図る事を目的に利用者満足度調査を実施しました。初めての試みではありませんでしたが、調査対象者の7割以上の方から回答いただき関心の高さがうかがえ、職員一同嬉しく思っています。

以下、調査結果について報告したいと思います。

まず、満足度の高かった活動ですが、トンボの会、カブトの会、調理教室、小旅行、はあとふるフェスタ、スポーツ交流会等があげられます。気分転換になった、楽しい時間を過ごせた等の意見が多く寄せられました。SSTやピアカウンセリング等の訓練的要素が含まれた活動に関しては、悩み事を相談できて良かったとの意見があった反面、難しかったとの意見もあり、満足度が低い結果となりました。その他として、色々な料理を覚えたい、スポーツを楽しみたい、職員にもっと話を聞いてもらいたい等多くの意見が寄せられ、利用者の皆さんがそれぞれの

思いや期待を持ちながら活動に参加している事を知る事ができました。

今回の調査結果を踏まえ、より活動に楽しく参加していただけるよう、活動内容の充実と工夫を図っていききたいと思います。また、通常の活動の中では利用者の皆さんとじっくり話す事が難しい状況にはありますが、今後も、利用者の皆さん一人一人に寄り添いながら、人と人とのつながりや地域とのつながりを大切にし、それぞれのニーズに応じた活動を皆さんに提供していければと考えておりますので、今後も皆さんの参加、ご協力をお願いいたします。





宮古圏域・ふくし

Report2

ピアサポート体制の 構築に向けて

相談支援専門員 平野千代野



ピアとい
う言葉を聞
いたことが
ある、知っ
ているとい

う方も多いと思います。「ピア」とは「仲間、対等」という意味がありますが、ここでは「同じ病気や障がいを経験している人」という意味で使っていきたいと思っています。

昨年11月末、仙台市にある「障害者相談支援事業所てれんこ」を視察してきました。てれんこでは精神に障がいを持ったピアの方を雇用しています。視察では、雇用に至った経緯、雇用するにあたっての効果、期待、業務内容や形態等の他、当事者の方からもやりがい、不安等を伺ってきました。ピアで雇用された方は「自分の病気になった（障害を持った）経験や

病気になってからの経験が生かされた、役に立つんだなあ。」とお話していました。

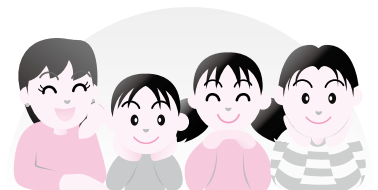
私は相談支援の場面で、利用者の方々から相談を受けたり、話を聞いても悩みや課題を解消できなかったり、私自身返答に困ったり...ということがあります。反面、地域活動支援センターの活動内で、私たちが気付かない視点で話をしたり、なんとなく話した利用者の方の経験談が他の利用者の方の背中を押す場面が何度もありました。「俺は退院できないんじゃないかと思ってたけど退院できた。掃除とか大変な時もあるけど、結構楽しい生活を送っている。皆も自信を持ったらしい。」

この場面と視察で伺った話がつながり、ピアの力、ピアサポートの必要性を再確認することができました。当事者の声に耳を傾けながらニーズがどれくらいあるのか探る機会やピアサポートの効果や必要性を啓発する場面を設けたり、宮古圏域でどの

ように展開させていくか検討していく必要があります。

誰にでも、できることとできないこと、得意も不得意もあります。生きてきた経験やその分の思いもあります。これは障がいがあるなしではありません。障がいのある方を支援される側としてしか見ていない支援者や専門職は多く、できる部分や体験できる機会を私たち専門職が奪っているのかもしれない。学ぶ機会や経験を提供できる場所があれば、もっと力を発揮することができると思います。

この思いを胸に、当事者の皆さん、関係機関の皆さんと一緒に特定の障がいではなく、身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がいを経験している方々、それぞれの経験を活かせる場の1つとして宮古式ピアサポート体制の構築に向けて取り組んでいきたいと思っています。



ち かつ 「地活センター」



に、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上、社会との交流の促進を目的に、創作的な活動、SST（社会生活技能訓練）・との連携強化のための調整、ボランティアの育成、障がいに対する理解促進を図るための普及啓発事業を実施しています。

交流と自立意欲の向上を目指して!

びいただき、懸命に競技
する選手に熱い声援を
送っていただきたいと
願っております。

当日はたくさんの皆様に足をお運
びいただきます。

今年も宮古市民総合体育館・シー
アリーナにおいて、7月2日に開催
されます。

また、宮古第一中学校のご協力で
中学生ボランティアも支援者の一員
となり、交流会の運営に貢献して
いただいております。このことは、
障がいへの理解と啓発につながって
いるものと、関係者一同嬉しく感じ
ています。

7月2日開催!

宮古圏域

障がい者スポーツ交流会

皆さんのご参加・応援お待ちしております!



昨年度の様子

日時:平成27年7月2日(木) 10時～15時
会場:宮古市民総合体育館

開催内容のご案内

競技種目	ソフトバレーボール
	スカットボール
自由参加 コーナー	PKゲーム
	フリースローゲーム
	体力測定
	輪投げ
その他	エアロビクス (体育協会指導員)

～平成26年度の開催実績～

- ・障がい者団体等:16団体239人
- ・ボランティア団体
- 関係機関等:8団体58人
- *参加者合計297人
- ☆ソフトバレーボール 7団体7チーム
- ☆スカットボール
- 16団体24チーム



～昨年度参加者の声～

- ☆精神障がい者だって、やればできるんだよ～! (K・Y)
- ☆昨年はソフトバレーで優勝しました。また参加していきたいと思います。スカットボールでも活躍したいです。(Y・M)

はあとふるズームイン!!

「地域活動支援センターみやこ」では、障がい者等（身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及び難病等）を対象にピアカウンセリング等の活動、各種サークル活動を行っています。また、専門の職員を配置し、医療・福祉および地域の社会基盤

☆偶数月第4火曜日
お互いに平等な立場で話を聞き合い、尊重し合い、仲間同士で支え合う活動です。

ピアカウンセリング

※SSTの活動は、精神保健福祉士、社会福祉士等の資格を持つ職員が担当しています。

☆毎月第1月曜日
コミュニケーションの取り方、気持ちの伝え方など、社会生活を送るうえでの技能を身につけるための活動です。様々な困難を抱える人たちの自己対応能力を高め、自立を支援します。

SST「社会生活技能訓練」

「心の回復のために」
精神障がいの方を対象に、こころのリハビリを目的とした活動に取り組んでいます！

こころの元気サロン

☆毎月第3金曜日
いろいろなアクティビティ（ヨガ・ゲーム等）や、ワークショップ（WRAP・SST等）を通じて、楽しみながら「こころ」が元気になるための活動です。

6月には釜石・大船渡との合同サロンが開催されます。盛岡市の「WRAP研究会いわて」のスタッフが中心となり、アートのワークショップを開催して、各サロンとの交流を図ります。



昨年度の様子【大槌町で釜石との合同サロン】

はじめまして!「シネマ倶楽部」です♪

開催日	鑑賞作品名
① 5月26日	南極料理人
② 7月28日	チャーリーズ・エンジェル
③ 9月29日	私の頭の中の消しゴム
④ 11月24日	海月姫
⑤ 1月26日	天使にラブソングを…
⑥ 3月22日	おおかみこどもの雨と雪



今年度から新たに始まった活動で、映画鑑賞を楽しむとともに、感想や思いを語り合うことで交流を深めます。
奇数月に開催し、厳選した6つの作品を鑑賞します。

平成27年度 事業計画・予算

NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット(レインボーネット)では、障がいをお持ちの方の豊かな暮らしの実現に向けて、今年度も各種事業に取り組みます。

【重点目標】

1. 重層的な相談支援体制で相談支援サービスやサービス等利用計画等が的確に作成できる体制を強化するため、相談支援業務の効率化と環境整備を図るとともに、相談支援事業所間のさらなる連携を図ります。
2. 平成26年度に実施した「地域活動支援センターみやこ」満足度調査の結果を踏まえ、活動内容の見直しを行ない、利用者の満足度を高めていくための取り組みを推進し事業の充実を図ります。

Ⅰ 法人運営の関係

(1) 法人の中立公正な運営に取り組みます。

- ・ 総会の開催（1回）
- ・ 理事会の開催（3回）
- ・ 運営委員会の開催（3回）
- ・ 会計監査の実施（4回）

(2) 会員等に対する情報発信に取り組みます。

- ・ ホームページを活用した情報提供
- ・ 機関紙「Rainbow Net」の発行（第20号・第21号）
- ・ 社会資源ガイドまっぴ、地活だより、各種イベントチラシの配布

Ⅱ 受託事業の関係

(1) 宮古圏域障がい者自立支援協議会の適正な運営に取り組みます。

- ・ 圏域協議会、実務担当者会議、生活支援部会（相談支援グループ・就労支援グループ）、権利擁護部会、精神保健部会、発達支援部会等の定期的な開催
- ・ 宮古圏域における地域課題の抽出と社会資源の改善・開発

(2) 各種セミナー・研修会等を開催します。

- ・ 自立支援協議会研修会
- ・ 障がい者相談支援スキルアップセミナー
- ・ 権利擁護セミナー
- ・ チャレンジドフォーラム
- ・ 地域生活支援セミナー
- ・ 発達支援セミナー

(3) 障がい者の相談支援、活動支援に

取り組みます。

- ・ 福祉サービスの利用援助
- ・ 総合的、専門的な相談支援
- ・ 虐待防止と権利擁護支援
- ・ SST、ピアカウンセリング、創作的活動、サークル活動、サロン活動等の実施
- ・ ボランティアの育成
- ・ 「障がい」に対する理解促進活動
- ・ 地域移行の促進活動

Ⅲ 自主事業の関係

- (1) 計画相談支援、障害児相談支援、地域相談支援に取り組みます。
- (2) 障害支援区分認定調査の実施に取り組みます。

【平成27年度・活動予算書】

収益の部

(単位:千円)

科 目	金 額
受取会費	248
受取寄附金	1
受取助成金等	0
事業収益	70,550
宮古地区地域生活支援事業等	57,300
地域生活支援広域調整会議等事業	100
相談支援事業	13,000
認定調査事業	150
その他収益	151
経常収益計 ①	70,950

費用の部

(単位:千円)

科 目	金 額
事業費	68,918
人件費	23,364
その他経費	45,554
管理費	6,032
人件費	2,313
その他経費	3,669
減価償却費	50
経常費用計 ②	74,950
当期正味財産増減額 ③=①-②	▲4,000
前期繰越正味財産額 ④	10,409
次期繰越正味財産額 ③+④	6,409

(3) 障がい当事者、関係機関、地域住民との交流を深める事業を実施します。

- ・ 宮古圏域障がい者スポーツ交流会の開催
- ・ はあとふるフェスタ2015の開催

(4) 各種セミナー・研修会等を開催します。(随時)

(5) 各種ネットワークの拡充と連携強化に取り組みます。

- ・ 地域懇談会の開催(各市町村で実施)
- ・ 宮古圏域障がい福祉サービス事業者連絡会の活動支援
- ・ 宮古圏域障がい当事者団体等ネットワークの活動支援(事務局運営)

エッセイ
Essay

虹の架け橋

『15という数字は転換の契機』



自然界の現象
や人間の成長過
程で15という数
字が転換の契機

になっている。

志学(15歳の別称)学問に志すこと。貴族や武家の男子が15歳で成人になったことを示す元服の儀式。

戦時中に直接戦闘に加わらない一般国民の住む所を銃後(15)として勝つまでは国民総動員で守れと叱咤激励。

童謡の赤トンボに「15で姐やは嫁に行きお里のたよりも絶えはてた」の一説。

陸軍少年飛行兵に志願して水戸市郊外の陸軍航空通信学校へ入隊した私が15歳。

それぞれが新たな段階を正しく歩き始めております。ただ介護保険料のように15年で2倍になり善悪の判断が困難なものもありますが、サービス面を考えれば結果的には善となる転換だと思います。

レインボーネット会長 飛澤 和夫

レインボーネットも発足して15年になりました。発足当時は障がい者への法整備等も乏しく苦しい生活を余儀なくされておりました。

それから15年、役職員の協力を頂きながら今日に至っております。

レインボーネットも15年を契機



に、相談支援の知識技術等の向上に努め時宜に適した活動を進めていかなければなりません。

労働の代償である賃金には職種によって格差が生じます。特に福祉関係の職業は他と比べて劣っても優るものはありません。

しかし先人たちが「無報酬の報酬」という言葉を残しております。それは奉仕からの賃金は無報酬だが、相手から受ける感謝の心が報酬であるという教訓なのです。

レインボーネットは収益を図る営利事業ではありません。従って賃金の不足分を補う財源等はありません。

感謝の心が報酬である。このことをレインボーネットの社是にして欲しいと思います。

相手からの感謝は、金よりも勝るものと受け止め、愛情をこめた活動で対応して下さいますようお願いを申し上げます。

終わりにレインボーネットの御発展を御祈願いたし、併せて15年にわたり御指導御協力を賜りましたことに衷心より感謝と御礼を申し上げます。本当に有り難うございました。

なんでも KEIJIBAN

第1回宮古圏域障がい当事者団体等 ネットワーク会議

日時 6月26日(金)

午後1時30分～4時

会場 宮古市総合福祉センター

対象 宮古圏域障がい当事者団体等
ネットワーク会員の皆様

内容

第1部 会議(2階 地域活動センター)
◇行政からの情報提供「宮古市障害者等自発的活動支援事業について」
◇レインボーネットからの情報提供「ピアサポーター体制の構築について」
第2部 卓球バレー交流会
(3階 健やかホール)

卓球バレーは障がいの有無、障がいの種別、年齢問わず皆で楽しめるスポーツです！28年度「希望郷いわて大会」のオープン競技に決定しています！

子育て講話＆そだちの相談会



講師
みちのく療育園 小児科医
川村 みや子 氏

会場 シートピアなど研修ホール

午前10時30分～午後12時

対象 保護者・教育関係者・医療関係者・福祉関係者など

定員 50名(参加費無料)

公開講話テーマ

第1回 6月27日(土)

こどもの発達と成長

第2回 8月1日(土)

発達障がい外来から見えること

第3回 10月3日(土)

臨床現場からみた現代の子どもと大人

※育ち相談は第1～3回共通で開催

します。
(定員5名・午後1時～午後3時30分)
※申込み、詳しい内容についてはレインボーネットまでお問い合わせください。

宮古圏域障がい者スポーツ交流会

日時 7月2日(木)

午前10時～午後3時

場所 宮古市総合体育館

内容 ソフトバレーボール・スカットボール他
※詳しくは中面8ページをご覧ください。

平成27年度「地域懇談会」

宮古圏域の各市町村を会場に、地域懇談会を開催いたします。

日時・場所

◇田野畑村

7月21日(火) 午後1時～午後3時
アズビイ学習センター

◇山田町

8月25日(火)
午後1時30分～午後3時30分
山田町中央コミュニティセンター

◇岩泉町

10月1日(木)
午後1時30分～午後3時30分
岩泉町民会館

◇宮古市

11月18日(水)
午後1時30分～午後3時30分
宮古市総合福祉センター 健やかホール

内容

市町村からの行政説明・各市町村の

地域課題をテーマとしてグループワーク・B型事業所の製品販売・その他。詳しくは、レインボーネットまでお問い合わせください。



B型事業所製品販売

編集後記

平成27年もあっという間に6月になり、新緑がまばい季節になりました。皆さんいかがお過ごしですか？

先日、地域活動支援センターみやこの活動で数年ぶりに浄土ヶ浜の散策に出かけました。ビジターセンタも新しくなっていて、サップ船で行く青の洞窟など、新たな発見が沢山ありました。爽やかな風が吹く季節、皆さんも地元の景勝地に散策に出かけてみてはいかがでしょうか？

今年度、レインボーネットでは新たに職員1名が加わり、パワーアップ!!16名体制でスタートを切りました。例年通り、『宮古圏域障がい者スポーツ交流会』や『はあとふるフェスタ』などのイベントや研修会・セミナーも企画しています。開催毎にお知らせしますので、皆さん是非ご参加下さい。よろしくお願ひします。(緑川)

発行

NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット(レインボーネット)

岩手県宮古市緑ヶ丘2番3号

はあとふるセンターみやこ

TEL 0193-64-7878

FAX 0193-77-3921

E-mail info@myako-rainbow.com

URL http://www.myako-rainbow.com/

発行責任者 会長 飛澤和夫

企画・編集 レインボーネット事務局

かい

いん

ぼ

しゅう

会員募集

NPO法人
レインボーネットの活動を
応援してくださる方を
募集しています。

会員の種類と年会費
について

個人	正会員	1,000円
	賛助会員	500円
団体	正会員	5,000円
	賛助会員	1,000円